

海外視察・調査レポート

「台湾國際五金工具博覽會 (TiTE EXPO 2023)」 視察 及び

台湾の現状と周辺情勢の調査

実施期間：2023年10月3日～6日



TiTE EXPO 2023 展示会場入り口にて派遣団参加者一同



一般社団法人 日本自動車機械器具工業会

令和5年度海外視察・調査レポートの発行にあたって

台湾は親日的で治安が良く、日本からも短時間で往復することができます。

その台湾の台中市で毎年開催されている「台湾国際五金工具博覽會」(TiTE EXPO 2023)は、台湾手工具工業同業公會による大規模な機械工具の展示会です。

国際委員会は、今回この展示会の視察をメインに、令和5年度の事業活動の一環として視察団を派遣しました。10月3日(火)に出国し、途中台風14号(コイヌ)が直撃しスケジュール変更を余儀なくされることもございましたが、6日(金)に予定通り無事帰国することができました。

初日は、日台交流協会副代表の服部氏による台湾の概況についての講演、日米台関係研究所理事の梅原氏からは台湾とその周辺情勢についての概説、そして日本語が堪能な台湾機械工業同業公会(TAMI)理事の黄氏による講演は台湾の機械産業の現況についてご説明いただきました。梅原・黄両氏には夕食にも同席いただき、現地団体と交流が深まりました。

2日目はオプションツアーで、KABALAN ウイスキー蒸留所と宜蘭酒廠の見学をおこないました。しかし大雨のため、午後に予定されていた十分への訪問が中止となり、九份のみを訪れました。

3日目は前述の台風14号が台湾南部を直撃したため、同日の展示会視察は急きょ開催中止となり、同様にTSMC 台積創新館の見学も中止となりました。そのため当日は、翌日予定していた総統府の視察などを実施しました。

4日目の朝、予定を変更し前日に行くことができなかった展示会の訪問を敢行し、「台湾国際五金工具博覽會」にて台湾の機械工具メーカーによる製品を視察いたしました。台湾手工具工業同業公會の皆様からの歓待もあり、比較的短時間でしたが濃密な展示会視察となりました。

また、当派遣団のもう一つの目的として、会社は違えども同じ業界で働く方々が視察団の団員となることで親交を深めていただきたいということもございまして、今回の派遣団はこうした成果も得られたのではないかと強く感じます。

なお、本視察レポートは、参加された団員のうち比較的若い6名の方々に報告する項目を分担して執筆をお願いし、そのレポートをメインに掲載しております。ご参考として社内などにてご回覧いただけましたら幸甚でございます。

最後に、国際委員会では、毎年実施している海外視察団派遣事業につきまして、会員の皆様方のご意見、ご要望をお聞きしながら有意義なものとするべく検討を重ねてまいりますので、今後ともご参加の程、よろしくお願い申し上げます。

一般社団法人日本自動車機械器具工業会
国際委員会委員長 三木 健太郎

目次

【巻頭言】

海外視察・調査レポート発行にあたって 国際委員長 三木健太郎・・・ 1

目次・・ 3

1. 実施概要

- ① 団員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- ② 日程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- ③ 台北・台中市街図（ホテル・講演会場・展示会場）・・・・・・ 7

2. 団員報告

- ① 台湾国際五金工具博覧会報告・・・鈴木浩之（彌榮精機株）・・・・ 8
- ② 台湾国際五金工具博覧会報告・・・大谷潤矢（光明理化学工業株）・・・ 10
- ③ 台湾国際五金工具博覧会報告・・・大山拓朗（株三協リール）・・・・ 14
- ④ 台湾国際五金工具博覧会報告・・・五十嵐裕和（株東日製作所）・・・・ 17
- ⑤ TAMI・日台交流協会講演会・・・中嶋峻也（彌榮精機株）・・・・ 22
- ⑥ TAMI・日台交流協会講演会・・・石田一人（光明理化学工業株）・・・・ 25

【順不同/敬称略】

3. 視察・訪問先等写真特集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28



一般社団法人日本自動車機械器具工業会
JAPAN AUTOMOTIVE MACHINERY & TOOL
MANUFACTURERS ASSOCIATION【JAMTA】
THE MEMBERSLIST OF TAIWAN Title 2023
(2023. 10. 3-2023. 10. 6)

No.	氏名 NAME	会社名 COMPANY	役職等 POSITION
1.	三木 健太郎 KENTARO MIKI	(株)三協リール SANKYO REEL Co., Ltd.	代表取締役 PRESIDENT
2.	木内 隆博 TAKAHIRO KIUCHI	(株)三協リール SANKYO REEL Co., Ltd.	部長 MANAGER
3.	大山 拓朗 TAKURO OYAMA	(株)三協リール SANKYO REEL Co., Ltd.	技術2課 TECHNOLOGY SECTION 2 STAFF
4.	山口 伸一郎 YAMAGUCHI SHINICHIRO	日伸精機(株) NISSIN SEIKI Co., Ltd.	代表取締役会長 CHAIRMAN
5.	中山 裕之 NAKAYAMA HIROYUKI	(株)共伸製作所 KYOSHIN-SS Co., Ltd.	取締役社長 PRESIDENT
6.	辻 修 TSUJI OSAMU	(株)東日製作所 TOHNICHI MFG Co., Ltd.	代表取締役社長 PRESIDENT
7.	五十嵐 裕和 IGARASHI HIROKAZU	(株)東日製作所 TOHNICHI MFG Co., Ltd.	係長 SECTION HEAD
8.	松村 昌造 MATSUMURA SHOZO	ＴＯＮＥ(株) TONE Co., Ltd.	代表取締役会長 CHAIRMAN
9.	宮本 忠久 MIYAMOTO TADAHISA	萬歳工業(株) BANZAI INDUSTRY Ltd.	常務取締役 MANAGING DIRECTOR
10.	佐藤 信也 SATO SHINYA	萬歳工業(株) BANZAI INDUSTRY Ltd.	部長代理 ACTING GENERAL MANAGER
11.	鈴木 浩之 SUZUKI HIROYUKI	弥栄精機(株) IYASAKA SEIKI Co., Ltd.	主任 CHIEF
12.	中嶋 峻也 NAKAJIMA SHUNYA	弥栄精機(株) IYASAKA SEIKI Co., Ltd.	電気技術課 ELECTRICAL TECHNOLOGY STAFF
13.	石田 一人 ISHIDA KAZUHITO	光明理化学工業(株) KOMYO RIKAGAKU KOGYO K. K.	総務課 GENERAL AFFAIRS STAFF
14.	大谷 潤矢 OTANI JUNYA	光明理化学工業(株) KOMYO RIKAGAKU KOGYO K. K.	係長 SECTION HEAD
15.	坂本 正紀 SAKAMOTO MASAKI	三栄工業(株) SANEI KOGYO Co., Ltd.	取締役部長 MANAGER
16.	坪田 一郎 TSUBOTA ICHIRO	(一社)日本自動車機械器具工業会 JAMTA	専務理事 JAMTA EXECUTIVE MANAGING DIRECTOR
17.	清成 敦彦 KIYONARI ATSUHIKO	東武トップツアーズ(株) TOBU TOP TOURS CO., LTD.	添乗担当 TOUR CONDUCTOR

【順不同】

※役職は視察当時のものです

視察スケジュール

	日付	都市名	時間	交通機関	行程
1	2023年 10月3日 (火)	羽田空港集合 羽田空港発 松山空港着 台北	06:30 08:55 発 11:30 着 昼	各自集合 JL-97 専用バス	羽田空港第3ターミナル集合 出国手続きの後に日本航空にて空路、台湾へ 【所要時間：3時間35分/時差：-1時間】 松山空港到着 入国手続き後、専用バスにて台北市内にて昼食、 龍山寺視察の後、ホテルへ荷物預け
			16:00～ 18:00	専用バス	台湾機械工業同業公会(TAMI)会議室にて講演会 ・日本台湾交流協会：服部崇副代表 ・日米台関係研究所：梅原克彦理事 ・TAMI：黄立翰会長
			夜	専用バス	講演後、夕食会場に移動し、梅原氏・黄会長が同席 し台湾料理の会食
2	10月4日 (水)	台北滞在	終日		自由行動、台北市内視察 ◆希望者はオプションツアーへ ・KAVALAN ウィスキー蒸留所、宜蘭酒廠見学 ・十分、九份のツアー ※降雨のため、十分の訪問はキャンセル
3	10月5日 (木)	台北滞在	終日		自由行動、台北市内視察 ※台風14号接近に伴い、展示会視察は翌日に延期、 TSMC 台積創新館見学は閉館のためキャンセル
4	10月6日 (金)	台北 台中 台北 松山空港発 羽田空港着	朝 午前中 昼 14:20 発 18:35 着	専用バス 新幹線 専用バス 新幹線 専用バス JL-98	専用バスにて台北駅へ 新幹線で台中駅へ 台中国際展覽館にて「台湾国際五金工具博覽會」 (TiTE)を視察 新幹線で台北駅へ 空港へ出発 日本航空にて空路、帰国の途に 【所要時間：4時間15分】 羽田空港着、入国管理手続きの後に解散

台北宿泊ホテル

台北リージェントホテル

台北市街図



● 台北リージェントホテル（中山付近）

台中市街図（高鐵台中駅周辺）



● 台中國際展覽館（高鐵台中駅付近）

台湾国際五金工具博覧会 視察報告

彌榮精機株式会社
製造部 鈴木浩之

博覧会概要

開催日：2023年10月4日～2023年10月6日（3日間）

開催地：台中市

展示品目：工具・工具付属品、自動車部品・修理工具、建築金物、
金属加工・安全装置、産業用ソフトウェア

台湾作業工具組合（約430社・500万人が在籍）を中心に2022年から開催され、今年が2回目。「工具博覧会」だが建築や電子ビジネス社も数多く参加しており、2023年の出展社はおよそ300社。2022年には延べ25000人が来場した。



【自動車修理工具・ラチェット】

デジタル・アナログ問わずトルク管理機能が付随されているものも多い。

また、右写真のラチェットは特殊なシャンク形状を備えたスチール押し出しによる熱間鍛造プロセスで作られており、ギア静荷重試験ではトルクの数値がDIN規格より30%も高く、従来の丸形シャンクのラチェットと比較しても極めて高い数値を得られているとのことだった。





【定量オイル注入システム】

エアシリンダーを使用することにより高粘度のグリスや一般のポンプでは抽出しにくいグリスにも使用可能とのこと。

また、ネットワークを通じ常に定量を把握し、給油などを行うシステムも構築されているとのことだった。

【電動ホイスト&ウィンチ】

会場に展示されていた物は小規模な場所で発生するリギング用途向けに設計されているものだった。

配線も可能な限り簡略化されており、安全性やメンテナンス性を重視した作りになっているという。

また、この会社の製品に用いられているチェーンは日本のFEC社という世界的に有名なチェーンメーカー製とのことだった。



これらの工具・製品は海外からも評価も高く、台湾から各国に提供される数も年々増えているとのことだった。

また、日本の自動車メーカーにも台湾から多くの工具が提供されており、ホンダ・スバル・マツダ等には新入社員向けに工具を提供しているメーカーもあった。今回の博覧会視察で台湾の企業が鍛造においても品質や安全性含め優れた技術力を持っていることを改めて感じる事ができた。

最後に、今回視察派遣団に参加させていただき、大変貴重な経験をさせていただきました。関係者の皆様に改めて感謝申し上げます。

台湾国際五金工具博覧会 視察報告

光明理化学工業株式会社
営業支援室 大谷 潤矢

1. 博覧会概要

- ・開催日：2023年10月4日～6日(視察日：10月6日)
- ・開催地：台湾(台中)
- ・開催場所：台中国際展覽館
- ・出展企業数：300社以上
- ・展示品目：工具及び関連製品、自動車部品、修理工具、メンテナンス機器
ねじ類・締結部品、ガーデン・アウトドア・農業・DIY
金属検査機器、加工設備、産業用安全装置、建築・錠前
産業用ソフトウェア・DX

2. 台湾国際五金工具博覧会視察

開催場所は高鉄台中駅近くの「台中国際展覽館」で開催された(台北駅から新幹線で約1時間)。また、会場は道路沿いに面しており、近くには大型の駐車場もあり、アクセスが良好な立地であった。

本博覧会は昨年、台中において初開催され、今年で2回目の開催となった。昨年の入場人数は約2万5千人である。

また、同博覧会の出展業種は、(1)工具及び関連製品、(2)自動車部品、修理工具、メンテナンス機器、(3)ねじ類・締結部品、(4)ガーデン・アウトドア・農業・DIY、(5)金属検査機器、加工設備、産業用安全装置、(6)建築・錠前、(7)産業用ソフトウェア・DXのエリアで構成(図1参照)されており、合計300社以上の企業が出展されていた。

経済日報(中華民国112年10月4日)によると、博覧会の面積及び訪問企業については「使用可能な面積は6,500平方メートル…前回版40%を超える成長率で、日本の自動車機械装置工業会を含む30以上の国と地域が訪問し、500社以上の外国人バイヤーが購入に来ることが見込まれている。(経済日報 中華民国112/10/4)」。これらから、本博覧会が大規模であることが窺える。また、会場の通路は広く確保しており、各ブースを見やすい構図となっていた(図2参照)。

本博覧会で注目した3社のブースの詳細を下記に記載する。

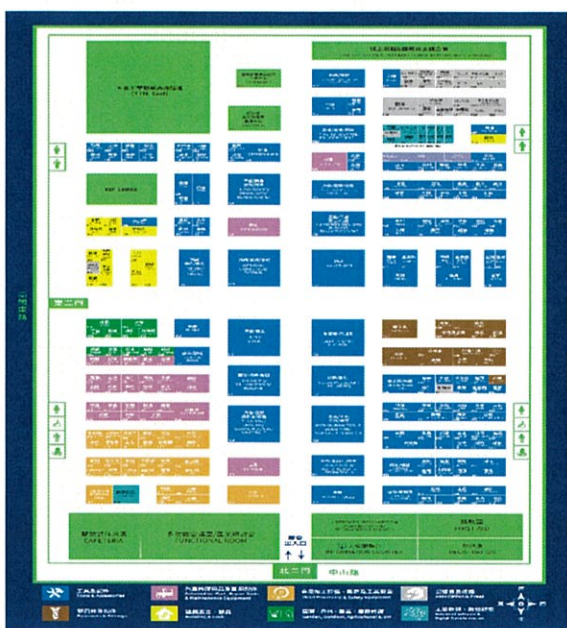


図 1. 会場マップ



図 2. 会場の様子

2-1. 株式会社 DEENTOOLS 様 (以下、DEEN)

DEEN の方のお話によると、DEEN の工具は日本国内のホンダ、マツダ、スバルのディーラーにおいて、40%以上のシェア率を誇っている。また、各ディーラーの新入社員 (整備士) の方から購入いただくことが多いとのこと。

台湾にある実店舗 (DEEN Style TOKYO) は工具、アパレル、美容室、バーが併設している。工具のみではなく、複合的なお店を目指しているとのこと。本ブースでもバーを併設しており、飲食しているお客様も見られた。



図 3. DEEN のブース



図 4. DEEN のラチェットレンチ

2-2. Mitcorp (医療挿管技術株式会社)

Mitcorp 社からビデオスコープが出展されていた。先端に LED とカメラが内蔵されており、重要なエンジン部品の内部を可視化することができる。

また、上位品種の製品だと、先端部をコントローラーで上下左右と、操作することが可能である。上位品種の価格は 2000USD、先端の操作が不可能な品種は 500USD。



図 5. 上位品種 (2000USD) のデモ

2-3. 株式会社キーエンス (日本企業)

キーエンス社からは「ハンディプローブ三次元測定機 XM-5000」の実演がなされていた。本測定器はプローブを対象物に当てるだけで高精度な三次元の寸法を測定できる製品であった。



図 6. 製品「ハンディプローブ三次元測定機 XM-5000」

3. 考察

本博覧会に参加して、各ブースの説明員からの情報や展示物等を見学したが初めて見聞きするものが多かった。また、各企業では製品を実演している企業が多くあった。このため、手に取って触る事ができたため、各製品の質感や操作感を体感することができた。

結論として、本博覧会を通して自動車機械器具等の台湾市場や製品について知識を深めることができた。また、本博覧会で得た知識や情報は有益なため、会社の関係部署に配信する予定である。

また、台湾は電気電子産業(半導体)や工作機械(自動車)が非常に発達している。これらの業界の動向は弊社にとっても重要な情報であるため、今後もこれらの情報を収集していく予定である。

最後になりますが、海外視察の実施について、ご尽力いただきました関係者の方々にこの場をお借りいたしまして心より御礼申し上げます。

また、海外視察を通して、団員の皆様と様々なお話をさせて頂いたことは私にとって大変貴重な経験でした。これらの経験を職務に活かしていきたいと思えます。

【参考文献】

- [1] 「TiTE 展特集号 ハードウェア EXPO」 『経済日報新聞』, 中華民国 112/10/4

台湾国際五金工具博覧会 2023 視察報告

株式会社三協リール
大山拓朗

台湾国際五金工具博覧会（TiTE2023）を視察してきました。台湾国際五金工具博覧会は TOOLS KINGDOM（工具の王国）をテーマにした工具や工作機械及び関連製品の国際見本市です。

今回の台湾国際五金工具博覧会の主催である台湾手工具工業同業公会の皆様が我々視察団を温かく迎え入れてくださいました。



昨年台中にて初開催され、今年も台中国際展示館にて10月4日～10月6日の3日間開催されました。展示の内容は、工具や工作機械を中心として、自動車のメンテナンス機器や板金加工機など、大小様々な、幅広い分野の製品が展示されていました。

台湾手工具工業同業公会の皆様との集合写真



出展企業の中には、ツールキャビネットなどを手掛ける「MACHAN」スイスに本社を置く板金加工機メーカーの「Bystronic」SWELLブランドで六角レンチなどのハンドツールを手掛ける「JACO」など、台湾を代表するメーカーや国外のメーカーなど、数多くの企業が出展していました。

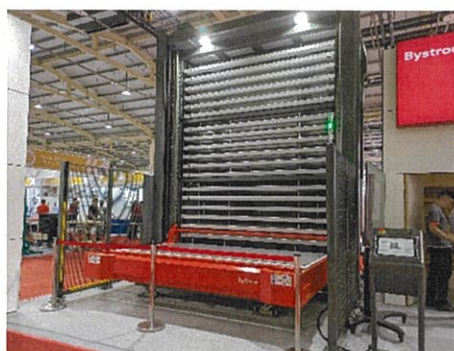
ツールキャビネットなどを手掛ける「MACHAN」



EV 充電キャビネット (左)
タブレット充電キャビネット (右)

EV 充電キャビネットやタブレット充電キャビネットなど、デザイン性に優れた板金加工製品が数多く展示されていました。自動車の分野だけでなく、無人レンタル品の受け取りやデバイスの充電を行うためのスマートロッカー、医療の現場で使われる医療用カート・病院用家具など、様々な分野の製品を手掛けており、板金加工サービスにおける可能性を感じました。

板金加工機メーカーの「Bystronic」



シートメタル収納庫 (上)

板金加工で製作された部品の他に、シートメタル収納庫といった大型の製品が展示されていました。板金加工サービスとの親和性を感じると共に本展示会のスケールの大きさを感じました。

所感

今回視察した2023年台湾国際ツール&ハードウェアEXPO (TiTE2023)では、工具や工作機械の他に、自動車部品・メンテナンス機器、ねじ等の締結部品、ガーデニング及び農業用機器、産業ソフトウェアなど、工具という枠にとらわれない、多種多様な製品が展示されていました。それは異なる産業が交わる場として、多様性を称賛する素晴らしい機会であると思います。出展企業や参加者は、それぞれの国や地域から持ち寄った独自のアイデアや技術を披露し、多様な視点が交錯することで、新たなイノベーションやビジネスの可能性が広がってきます。今回の視察を通して、台湾企業の技術力の高さだけでなく、国際見本市のもつ、国境を越えた交流の場としての役割を改めて知ることができました。

最後に、今回初めて海外視察派遣団に参加させて頂きましたが、団員の皆様方から頂いた多大なるご配慮、お心遣いにより、非常に充実した海外視察となりましたこと、この場をお借りして心より感謝申し上げます。また、今回の台湾国際五金工具博覧会の主催であり、我々視察団を受け入れて下さった、台湾手工具工業同業公会の皆様方、並びに関係者各位にはこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

台湾国際五金工具博覧会 視察報告

株式会社東日製作所
五十嵐 裕和

2023年10月6日（金）、台中市にて行われた台湾国際五金工具博覧会（Taiwan International Tools & Hardware Expo）を視察しました。

台湾国際五金工具博覧会は台湾手工具工業同業公會（THTMA）主催の元、10/4-10/6の間行われ、昨年と同博覧会では2万5千人以上の方が来場されました。



台湾はハンドツールの世界第3位の輸出国であることから、同博覧会ではハンドツールを中心に関連アクセサリ、ファスナー／固定具、自動車部品、修理メンテナンス機器、建材、金属加工機器、試験機器等様々な製品を展示されておりました。



（主催者の台湾手工具工業同業公會の方々との記念写真）

今回弊社製品でもあるトルクレンチを中心に視察しましたのでご報告させていただきます。

STAND 社



同社は 1988 年にラチェットドライバー及びマグネット製品メーカーとして事業を開始し、その後 2004 年に初めてデジタルトルクレンチの開発を開始、以後現在ではデジタルトルクレンチの他アナログ式トルクレンチの販売を行っている。台中市に自社工場があり ISO17025 も取得しているとの事。

同社製品の用途としては主にアフターマーケット向けとなるが、欧米、中国向け等輸出がメインとなり台湾国内向けは微小との事。

欧州規格（DIN）の交換ヘッドも同社にて販売しているようで展示されていた。



デジタル／アナログ式トルクレンチ



欧州規格（DIN）ヘッド

eclatorQ 社



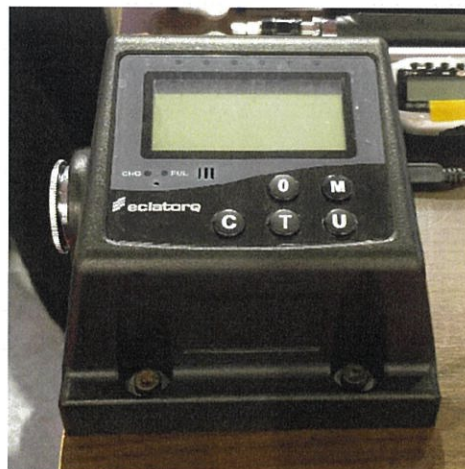
同社はデジタルトルクレンチ専門メーカー（アナログ式トルク機器は販売していない模様）となり、一部台湾の日産（裕隆日産汽車）工場の生産ラインにて使用しているとの事だが、STAND 社同様メインはアフターサービス向けとなり海外、特にアメリカ向け輸出が多いとの事。

デジタルトルクレンチの他、新製品としてトルクレンチチェッカー（トルクレンチの精度を確認するための機器）を展示されていた。

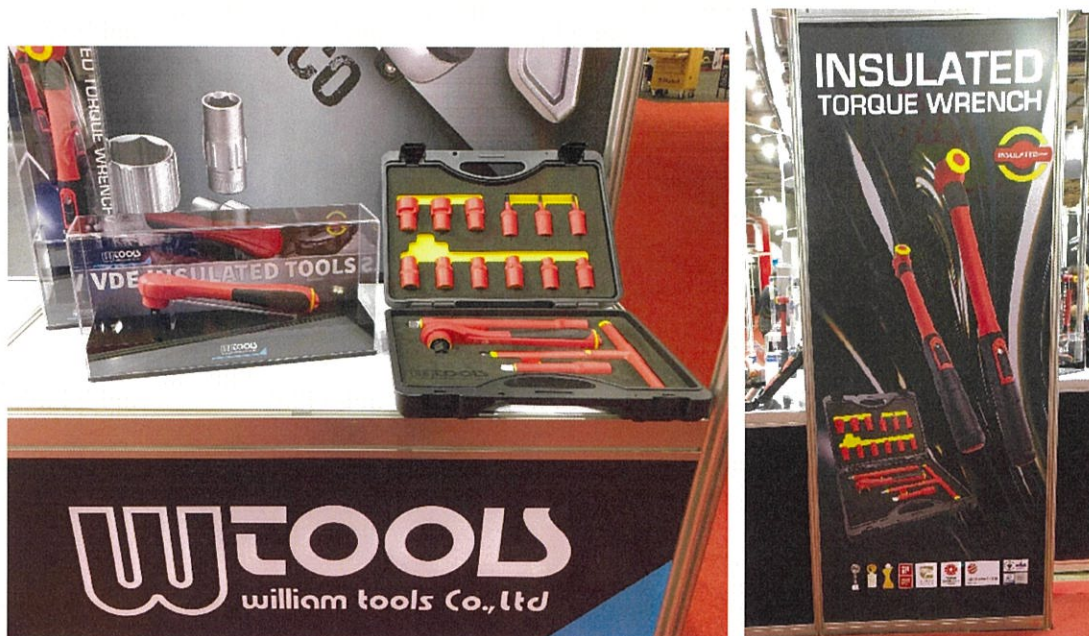
デジタルトルクレンチ



トルクレンチチェッカー



WTOOLS 社



アナログ式トルクレンチの他、絶縁式トルクレンチを製造、販売。
絶縁機器に関し、トルクレンチ本体は同社で製造しているが被覆は他社で行っているとの事で、IEC60900 の絶縁規格をクリアしており、またドイツの VDE 絶縁認証を取得している。

OGC TORQUE 社



アナログ式トルクレンチ、トルクドライバの専門メーカー
OGC ブランドとしても販売しているが、日本の会社向けに OEM 提供も行っている。

JONNESWAY 社



ソケットからハンマー、グラインダー等様々なツールを製造、販売。
トルクレンチも販売しているが OEM 提供は行っていない。
主に、オンラインにて販売しているとの事。

【総括】

今回トルクレンチを出展しているメーカーはこれら5社であったが、どこのメーカーも台湾国内向けの販売は非常に少なく、多くは輸出がメインとの事でした（特にアメリカ向けへの販売が多い印象でした）。用途としては自動車の整備などアフターマーケット向けとなります。

理由を伺ったところ、トルクレンチに限った話なのか、台湾人は台湾製をあまり信用しておらず品質のいい日本製や欧米製品を好む傾向にあるようです。ただ以前とは異なり徐々に台湾製や中国製の品質も上がっているというのは浸透しつつあるので今後台湾国内向けにも販売は増えていくのではないかとこの事でした。

最後に、今回台風の影響により大幅なスケジュール変更を余儀なくされましたが、東武トップツアーズの清成様及び現地ガイド様の多大なご協力により、急遽別途ツアーを組んでいただいたり最終日に展示会視察出来るよう調整いただいたりしまして心より感謝申し上げます。

また、派遣団長及び国際委員長である三木社長様、坪田専務理事様をはじめ今回の台湾視察参加者の方々には色々とお気遣いいただき誠にありがとうございました。おかげ様で大変有意義な4日間を過ごすことが出来ました。この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

TAMI・日台交流協会講演会 視察報告

彌榮精機株式会社

中嶋 峻也

2023年10月3日に「日台交流協会」・「日米台関係研究所」・「台湾機械工業同業公会(TAMI)」の講演会が行われた。

【日台交流協会】

日本台湾交流協会の服部様より、「台湾概況」について説明があった。コロナによる影響もあるが、人的往来は日本人の訪台は87,133人(前年比779.2%増)に対して、台湾人の訪日は331,100人(前年比6500.9%増)と多く、台湾人の親日度がよくわかる。

高齢化問題は日本で大きな課題となっているが、台湾でも今後高齢化が進んで2060年には日本に追いつくと予想されている。

日系企業が台湾へのビジネス展開している話があったが、台湾の街中を歩いていると、日本の飲食店や日本企業の看板を多く目にしたので、日系企業が次々に台湾へ進出していることを実感し、ビジネスや貿易において重要なパートナーであることがわかった。

【日米台関係研究所】

日米台関係研究所の梅原様より、「台湾危機は即自由世界の危機」について説明があった。

現在、台湾を国として認めている国は十数か国しかない。

日本は、1972年に中華人民共和国(中国)と国交を正常化する際に、中国からの要求によって、中華民国(台湾)との国交を断絶してしまい、日本は台湾を国として認めていない。そのため、日本と台湾との協定は両国政府承認の上、民間同士で行われている。

政治・外交関係を断っているため、安全・防衛保障の協力ができない状況である。今までは台湾に退官した自衛官が駐在し、情報収集などの体制を敷いていたが、今春に現役の防衛省職員が出向することになり、台湾有事への体制を強化することとなった。

台湾は大事なパートナーであり、今危機的な状況である。

日台の関係を強化するために、日・米・台トライアングルの安全保障・防衛協力体制の確立と「日台交流基本法」の早期制定が必要である。

台湾有事のニュースは、最近多く報道されているが、少しずつ緊迫する方向に進んでいる。沖縄の横に位置するほど距離的にも近く、貿易や交流が多い日本はこの問題は決して他人事ではない。

各メディアが、台湾有事が起こった際のシミュレーションなどを行っているが、同盟国であるアメリカを支援するために自衛隊の派遣や日本にある米軍基地も攻撃される可能性があり、日本人も巻き込まれることになる。

中華民国(台湾)と中華人民共和国(中国)は多くの歴史的な問題があり、簡単に解決できる内容ではないが、武力を行使するのではなく、平和的な解決を強く望みたいと思う。



「台湾危機は即自由世界の危機」講演

【台湾機械工業同業協会 (TAMI)】

台湾機械工業同業協会の黄様より、「台湾機械産業現況」について説明があった。

台湾の機械産業概況について、輸出・輸入ともに昨年と比べて20%前後落ち込んでいる。台湾南部の工場は、今年に入ってから需要が減少し、週4での稼働となっており、今後の状況によっては週3まで落ち込む可能性もあるとの事。

電子設備や工作機械の貿易では、台湾の輸入国として日本が比率を多く占めている。

テスラでは、多くの台湾企業から部品を供給しており、自動車業界を担っている。

自動車では様々な部品が使用されるが、その中から台湾のモータメーカーの紹介があった。

- ・東元電機 (TECO) : 台湾の東芝といわれており、発電所などの産業モータや家電製品も手掛けてきた。車用モータは中々成功できなかったが、現在では電動バス・二輪車を生産している。
- ・富田電機 : 産業用モータを作ってきたが、テスラと共同研究して自動車用モータ分野に参入した。
- ・台全電機 : 北米の主要自動車メーカーやボルシェ等に提供している。



「台湾機械産業現況」講演

【総括】

今回の講演で、日本と台湾はビジネスや産業、観光などあらゆる面において重要なパートナーであることがよく分かった。

両国では、多くの機械・電子部品関係が貿易の割合を占めており、経済に大きく貢献している。今後も積極的なビジネスを行い、両国の経済が更に発展していくことを期待したい。

日台交流協会・台湾機械工業同業公会（TAMI）講演会報告

光明理化学工業株式会社
石田 一人

2023年10月3日、台湾視察研修旅行にて日台交流協会様、台湾機械工業同業公会（TAMI）様の講演会に参加させていただきました。



講演会場の様子

講演会では3名の講師の方に講演をして頂きました。

●講師：服部崇様（日本台湾交流協会台北事務所副代表）

台湾の人口や面積等の一般的な事項の他、GDP・雇用・所得分布の動向、コンビニ・飲食・ECサイト等の市場、貿易の状況等の概況、についてのご講演でした。

台湾市場にも日系飲食店の展開が進んでおり、実際にすき屋、はま寿司、サイゼリヤなどの日本でもおなじみの飲食店を見かける事が出来ました。

また、100m毎にコンビニがあるとされる程のコンビニ大国との事で、その名の通り、街中には多くのセブンイレブンやファミリーマートがありました。



街中の風景 すき家



コンビニのある風景



台湾概況を講演される服部様

また、現在高齢化率世界一と言われている日本を上回るスピードで今後高齢化が進むと予想されているとお伺いしました。要因のひとつに、結婚しない人が多いとの事で出生率も0.98と、世界の中でも低いと言われる日本の1.3より低いことが挙げられます。同様に韓国・台湾・中国・シンガポールでも少子高齢化が問題視されており、アジア全体の問題として考えさせられるお話でした。

●講師：梅原克彦様

(一般社団法人日米台関係研究所理事・崇越科技股份有限公司顧問)

「台湾危機は即自由世界の危機」のテーマの下に、中国による軍事侵攻が起こった場合の想定の話、台湾の国際法上の扱いや日台国交断交による実態についてお話頂きました。

2022年9月29日で、日本と台湾が国交断交となり50年となりました。まさに半世紀もの時が経ちますが、日本と台湾は極めて良好な関係を維持しており、現総統の蔡英文総統も「史上最も友好的な関係」仰っておられます。

国交断交が発表された1972年9月29日に日本と台湾との間で、「正式な外交関係はなくなるが、民間での関係は大切に、これまで以上の交流をする」との約束が行われていたとの事です。

当時の台湾の方々には、日本に捨てられたという思いがあったであろう事は想像に難くありません。この約束を実現し、現在までこれ程までに友好的な関係を続けてこられた背景として、日本と台湾の先人達の作り上げた関係はもとより、何よりも台湾の方々の努力は計り知れないと感じられました。



ご紹介頂いた台湾に関する厳選された参考図書

・講師：黄立翰様（台湾機械工業同業公会理事 他）

台湾機械産業の現状、台湾の誇る 3 社のモーターメーカーについてのご紹介、電子設備・工作機械の輸出入の概況についてご講演頂きました。



台湾機械産業のお話をされる黄様

台湾は電機電子産業が発達しており、中でも半導体に関しては、2019年12月には全世界の生産能力の22%とシェア1位となり、TSMC社は現在売上高・技術共に世界一となっています。

半導体・コンピューター・スマートフォン産業では世界トップクラスの製造力を持っており、Apple社のiPhone、ソニー社のPlayStationやMicrosoft社のXbox等のゲーム機のチップも台湾企業により製造されています。

機械産業としては、アメリカのテスラ社の電気自動車を構成する部品にしても、モーターを始め、CPU・ギア・バッテリー・クーリングファン・充電関係機器・レンズ・ネジ等と、多くの台湾企業の技術が投入されていました。

また、モーターメーカーとしては、東元電気社は1000馬力以上のモーター製造では世界3位で、3万～5万馬力のモーターまで製造しているとの事です。富田電機社は台湾で唯一、テスラ社にモーターを提供している企業です。台全電機社はEPS（パワーステアリング）モーターとして世界シェア15%を誇り、ポルシェや日本のトヨタ・日産・スズキにも提供しているとの事でした。

改めて、台湾の技術力の高さが伺えるお話でした。

今回の講演会では、今まで知らなかった台湾の歴史・産業の一面を知ることの出来る、とても貴重で興味深いお話を伺うことが出来ました。

最後に、この度初めて海外視察派遣団に参加させて頂きましたが、視察期間中に団員の皆様方に頂きました温かく多大なるご配慮やお心遣いにより、とても有意義な海外視察を経験することが出来たと思っております。この場を借りて、全ての関係者様各位に心より感謝を申し上げます。

【 TAMI (台湾機械工業同業公会) 会議室 】



精一杯のおもてなしをいただいた TAMI の交流会会場



服部氏・梅原氏・黄会長と記念撮影

【 台灣國際五金工具博覽會 】



展示会視察のようす



歓待していただいた台灣手工具工業同業公會の皆様

【 台北市内 】



1738年に創建された台北最古の寺院「龍山寺」(ロンシャンスー)



日本統治時代に建てられた中華民国総統府

【 オプションツアー / 宿泊ホテル 】



KABALAN ウイスキー蒸留所



リージェント・タイペイ（台北晶華酒店）



令和6年1月

一般社団法人 日本自動車機械器具工業会 国際委員会

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館304号室

Tel 03-3431-3773 URL : <https://www.jamta.com/>